INAX

保証書付

リラステージ iシリーズ

L型便器セット　ラウンドカウンタータイプ

GSCー0801、0841、0881、
0921、0961、1001　（レバー式水栓仕様）
GSCー0801A、0841A、0881A、
0921A、0961A、1001A　（自動水栓仕様）

I 型便器セット

GSCー0800、0880

取扱説明書

**このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に
大切に保管してください。**

**この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書を
お渡しください。**

もくじ

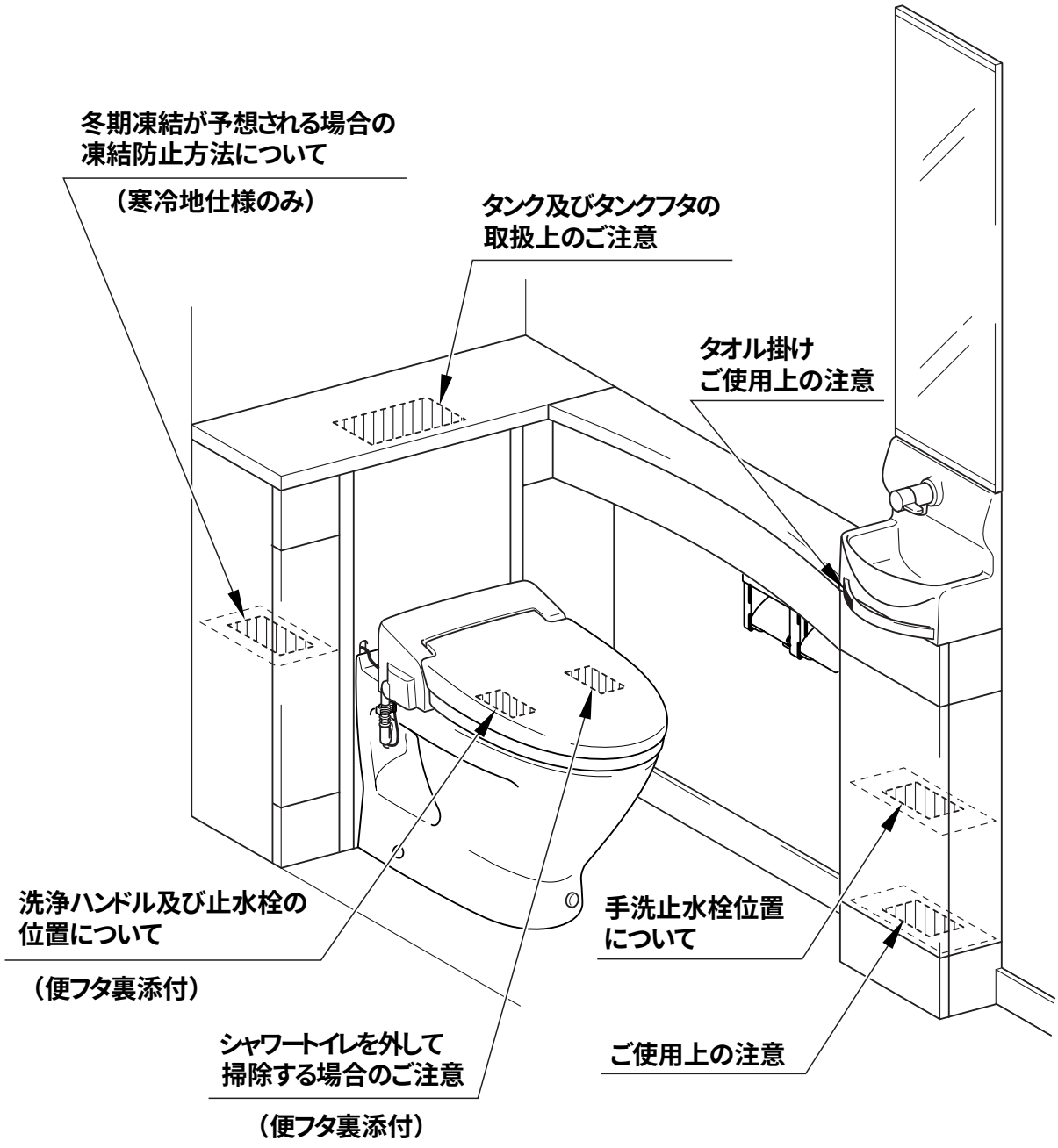
注意シールの張付位置について……　1
各部の名称……　2
安全上のご注意……　4
ご使用方法……　8
ご使用上の注意……15
お手入れ方法……17
長期間使用しない場合……20
冬期凍結の恐れがある場合……22
アフターサービスについて……24
仕　様……26
保証書……30

プラ
袋 PP

「シャワートイレについてはシャワートイレ取扱説明書をご覧ください。」

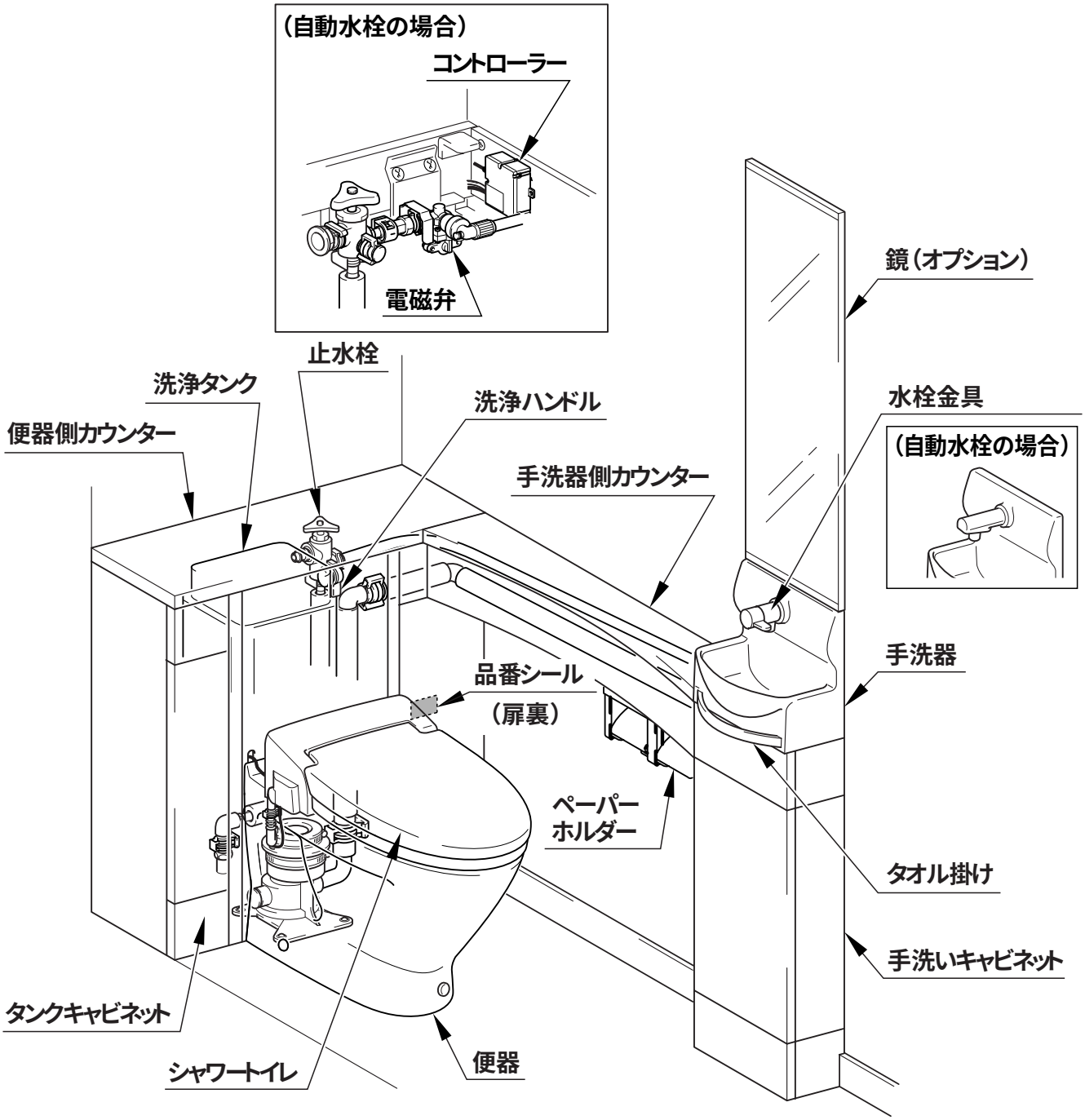
●注意シールの張付位置について

■下図の位置に使用上の注意シールを張付しています。
ご使用前にご確認ください。

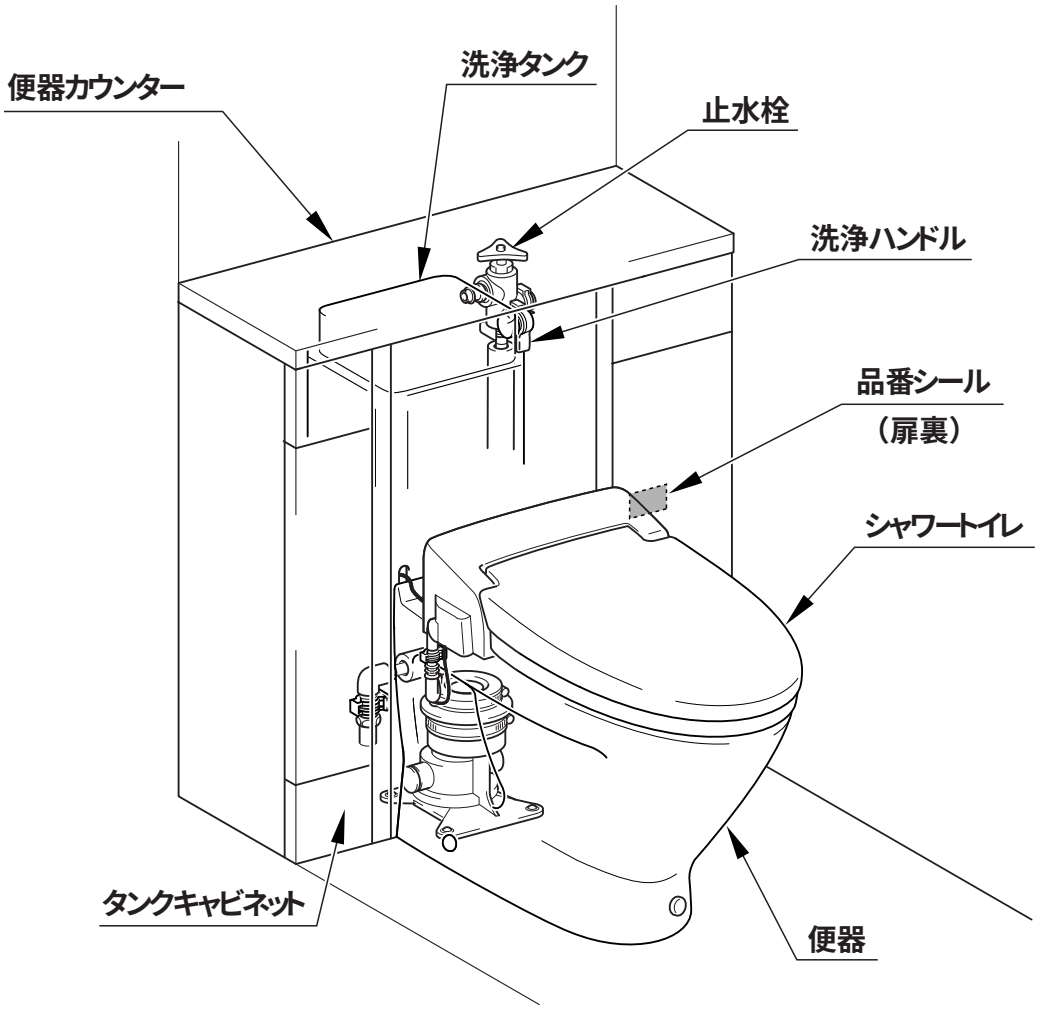


●各部の名称

■ GSC-0801(A)、0841(A)、0881(A)、0921(A)、0961(A)、1001(A)



■ GSC-0800、0880



●安全上のご注意（お使いになる前に必ずお読みください。）

●ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記の『警告』『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。
※発火、ショート、感電、故障の原因になります。（自動水栓の場合）

⚠注意

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。（自動水栓の場合）

交流 100V 以外では使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

水栓が故障した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。
※そのまま使用すると発火、ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※ショート、感電の原因になります。（自動水栓の場合）

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。（自動水栓の場合）

⚠注意

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、破損や漏水の恐れがあります。

カウンターや手洗器の上に乗ったり重いものを乗せたりしないでください。
※変形や破損してケガをする恐れがあります。

カウンターの上に火のついたタバコ等を置かないでください。
※火災の恐れがあります。

便器、手洗器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部は絶対に触らないでください。
※破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

商品が破損したり、ガタついたり、あるいは取り付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。すぐにお取り替えや修理依頼してください。
※落下の恐れや破損部位でケガをする恐れがあります。

商品にもたれたり、たたいたり、強い衝撃をあたえたり、固いものをぶつけたり、冷水・熱湯などをかけたりしないでください。
※破損やケガの恐れがあります。

扉にぶらさがったり、大きくあけすぎないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。特に、小さいお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじを締めなおしてください。
※扉が落下し、ケガをする恐れがあります。
（扉の調節方法は 18、19 ページ参照）

ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠注意

ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので､ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

凍結が予想される場合は、水を抜いてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

タオルバーを無理に引っ張ったり押さえ付けたりしないでください。
（L 型の場合）
※破損してケガをする恐れがあります。

●ご使用方法

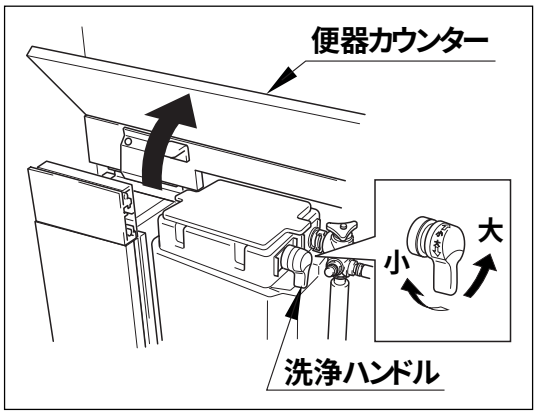
シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

1、便　器

■便器鉢内洗浄のしかた

●用便後、便器内を洗浄する（汚物を流す）場合は、シャワートイレ用リモコンの洗浄ボタンを押してください。大洗浄の場合は㊦ボタン、小洗浄の場合は㊧ボタンを押してください。
※詳細はシャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

●停電時及びリモコン電池切れ時などは手動で操作する必要があります。
便器カウンターを上げますと洗浄ハンドルがありますので、手動で操作してください。



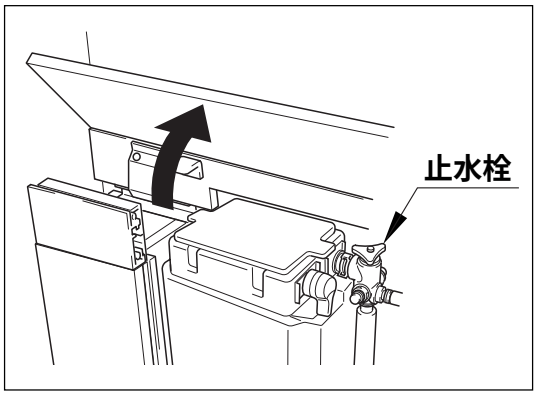
■止水栓の位置及び操作のしかた

●止水栓はシャワートイレを外して掃除する場合など水を止めたい時に操作します。

●便器カウンターを上げますと止水栓ハンドルがあります。
ハンドルを操作して開閉の調節をしてください。

●設置時にあらかじめ水量調節してあります。
また止水栓内部に定流量弁が入っていますので、止水栓を一定以上開いても吐水量は変わりません。

●この止水栓は洗浄タンクへの給水、シャワートイレへの給水、手洗水栓（L 型の場合）への給水の止水栓を兼ねております。



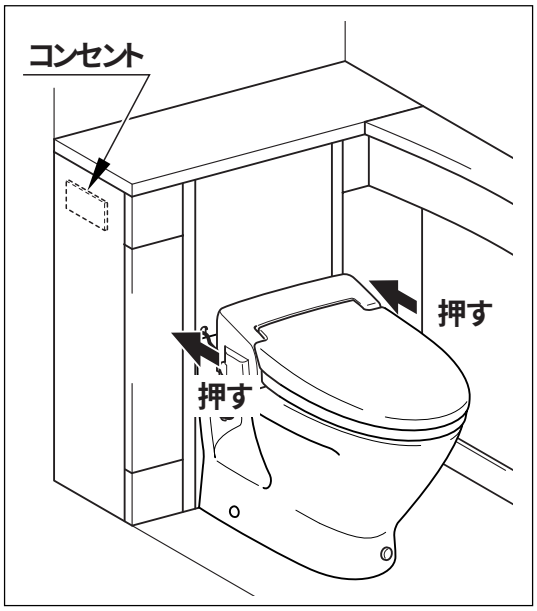
■洗浄タンク内の点検、調節

●洗浄タンク内の点検は、当社メンテナンスまで連絡してください。
※洗浄タンク内に芳香剤や薬品を入れないでください。
故障の原因になります。
※洗浄タンクに空きビン等を入れないでください。
規定水量を欠くと便器の詰まり等の原因になります。

2、タンクキャビネット部

■扉の開閉のしかた

●左右の扉の開閉は、扉の内側中央部を押してください。

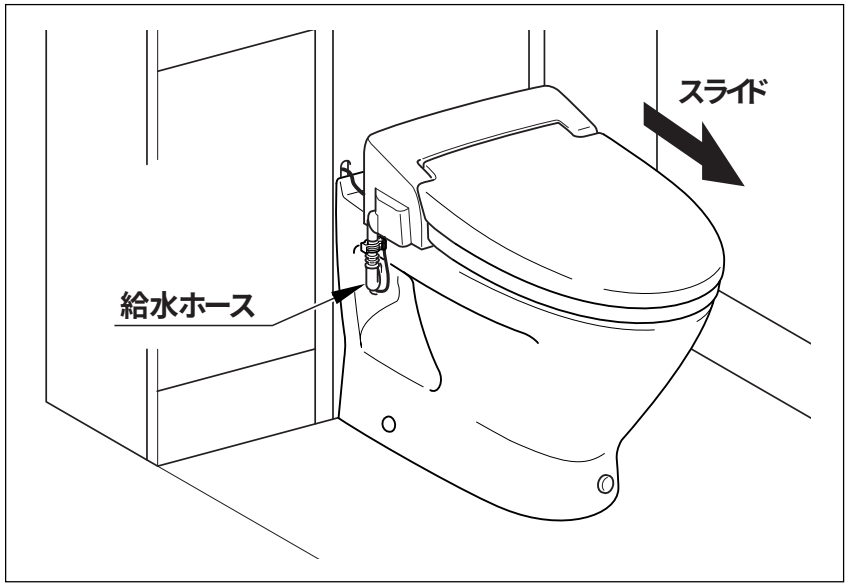


■コンセントの位置について

●シャワートイレおよびコントローラー（自動水栓の場合）また、流せるもんのコンセントは便器カウンターを上げるとあります。

■シャワートイレを外して掃除する場合

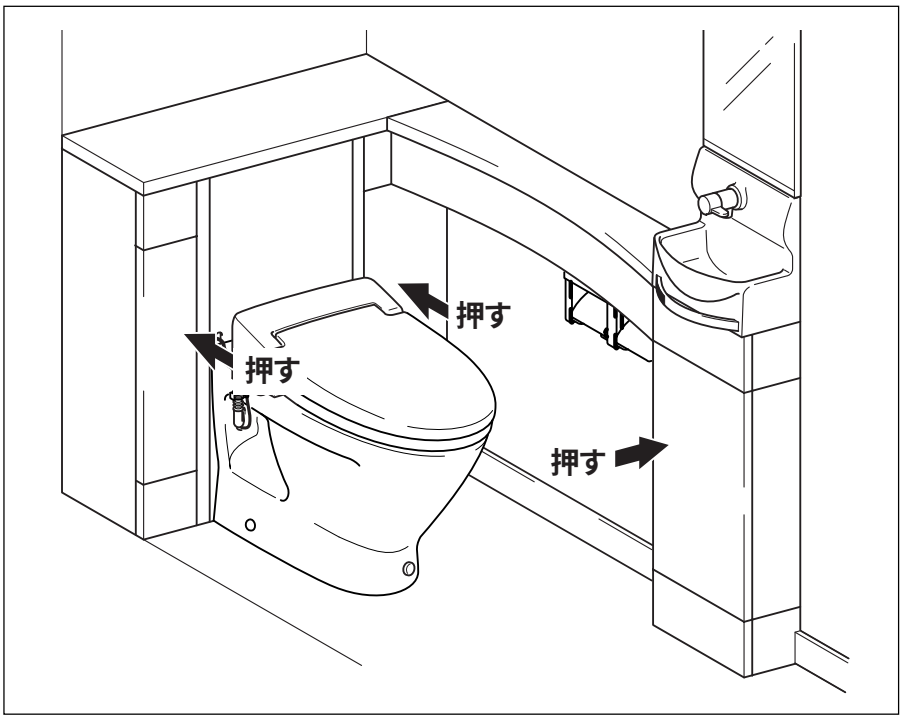
●シャワートイレの給水ホース、電源コードは便器及び便器前パネルの開口部を通りシャワートイレに接続されています。
シャワートイレを外す時は手前へゆっくりとスライドさせ、給水ホースやコードを無理に引っ張り傷つけないようにしてください。
※破損、漏水の原因となります。
※シャワートイレを取り外す際は、電源を切り、止水栓を閉じてから行ってください。
※シャワートイレの取扱いについては、シャワートイレ取扱説明書を参照してください。



3、手洗いキャビネット部（L 型の場合）

■扉

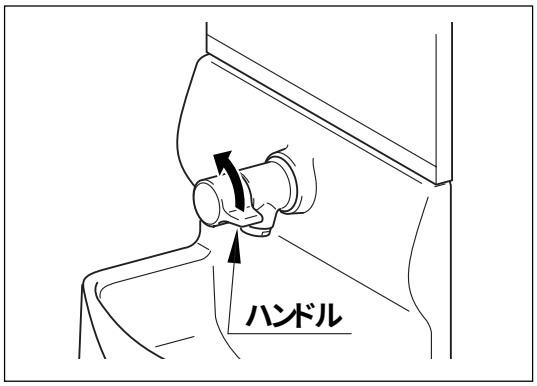
●扉の開閉は、扉の内側中央部（図、矢印部）を押してください。



■水栓金具

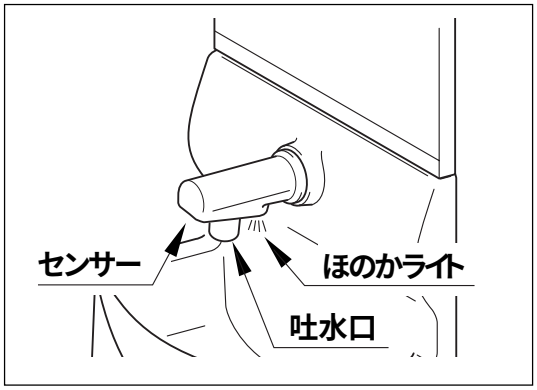
[レバー式水栓の場合]

●ハンドル部を上にまわすと水が出ます。



[自動水栓の場合]

●センサーに手を差し出すと吐水し、ほのかライトが点灯します。
手を引くと約１～２秒後に止水した後、ほのかライトが消灯します。

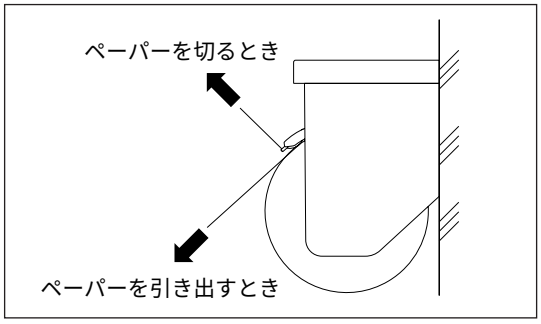


※設置時にあらかじめ水量調節がしてあります。吐水流量を変更したい場合は（P８、■止水栓の位置及び操作のしかた）を参照してください。

■ペーパーホルダー

●ペーパーの切り方

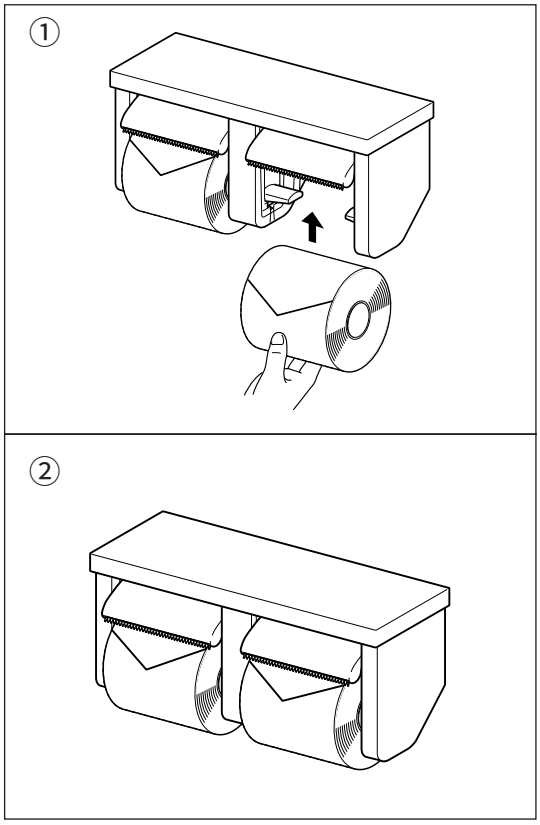
ペーパーをひっぱり出すときは、斜め下方向へ引き、切るときは、カッターの先端にペーパーの端をひっかけて、ゆっくり斜め上に引いてください。



●トイレットペーパーの交換方法

トイレットペーパーを上へ持ち上げてセットします。

※ペーパーを間違えてセットした場合は、無理に取り外そうとせず、ペーパーを紙切り板に押し当てながら、ーパーを紙切り板に押し当てながら、ゆっくりと手前に引き出してください。無理に外すと製品が破損する恐れがあります。

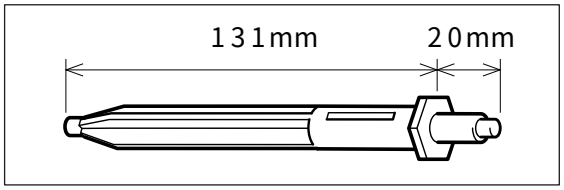


●芯無しペーパーの使用方法

この紙巻器は、別売りの芯棒を取り付けることで、芯無しペーパーも使用することができます。

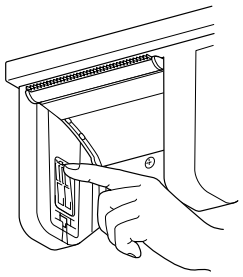
芯無しペーパー用芯棒品番（別売）：A-4326

アームを紙巻器本体の中に指で押し込みます。芯棒にペーパーを取り付け、紙巻き器下から溝に沿ってペーパーをカチッと手ごたえがあるまで挿入してください。

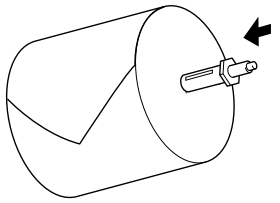


● 伸縮寸法　131～151mm

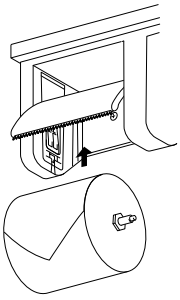
①アームを指で押しこむ



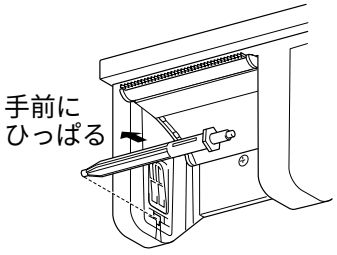
②ペーパーに芯棒を入れる



③下方から紙巻器に装着する



※芯棒のとりはずし方

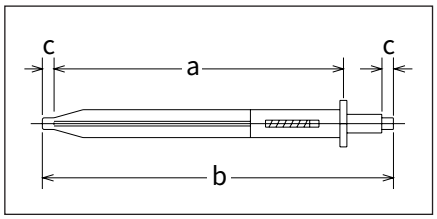


※市販の芯無しペーパー用芯棒も使えます

下記の条件を満たす市販の芯無しペーパー用芯棒も同様にお使いいただけます。

●伸縮寸法 { 最小寸法が131mm以下 …… a
最大寸法が137mm以上 …… b

●端部形状： φ5mm以下の直線部が両端に各3mm以上あること …… c

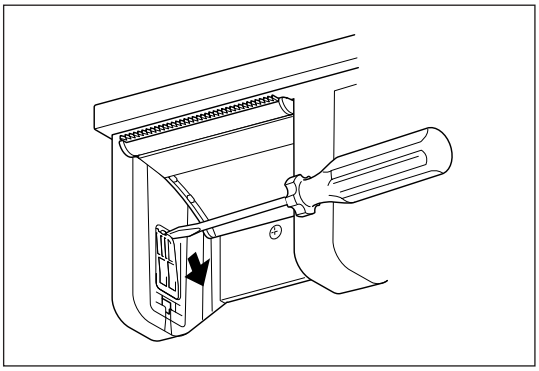


また、上記の条件を満たす芯棒でも場合によっては装着できないことがありますので、無理に取り付けないでください。
※紙巻器が破損し、ケガをする恐れがあります。

●アームの復帰のさせ方

芯無しペーパーをお使いになっていて、芯あり（穴あり）ペーパーを使用したくなった場合、以下の方法で押し込んだアームを復帰させることができます。

注）芯無しペーパーをご使用後、アームを元に戻したときに、アームに癖がついていて完全に元の状態に戻らないことがあります。



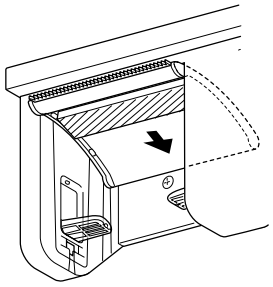
●重りケースの着脱方法

この紙巻器は片手で紙を切れるように紙切板で紙を加圧しています。
ご使用になる紙の質によっては、紙がひっかかって切りづらい等の不便が発生することがありますが、紙切板の裏に設置された「重りケース」で調節することができます。

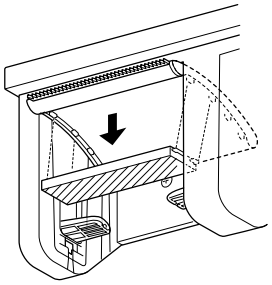
（1）重りケースのはずし方

紙切板を上に上げて、重りケースを奥にスライドさせてはずします。

①紙切板を上げ、重りケースを奥にスライドさせる



②重りケースを下にはずす

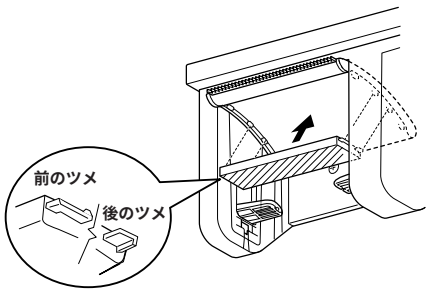


（2）重りケースのつけ方

紙切板を上げて裏に重りケースをぴったりつけ、手前にスライドして取り付けます。
このときカチッと手ごたえがあるまでスライドさせてください。

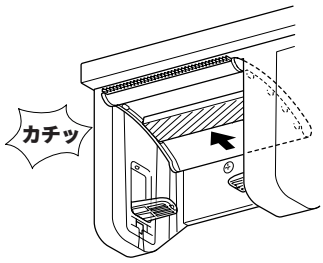
※取付けが不完全だと使用中に重りケースが脱落する可能性があります。

①紙切板を上げて、紙切板の裏に重りケースを密着させる



※重りケースの前後を間違えないでください

②手ごたえがあるまで、手前にスライドさせる



注）重りケースの装着位置は3段階で調整できます。
上のイラストは中央の位置に重りケースを取付けた例です。

例）ペーパーがちぎれて引き出しにくいときは、重りケースを奥に取り付けます。

市販のロールペーパーの中には切れにくいものもありますのでご了承ください。
ロールペーパーはお住まいの地域によって多種多様にありますので、いくつかの種類をお試しの上、切れやすいものを選択してお使いください。

- 使用可能なロールペーパーのサイズ

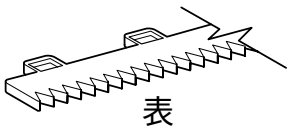
  巾：106～118mm　　直径：120mm以下

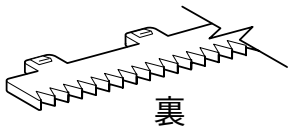
●カッターの交換方法

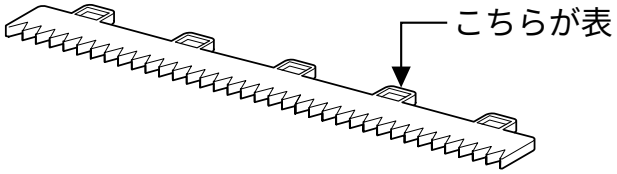
紙の切れ味が悪くなってきましたら、カッター部を交換してください。

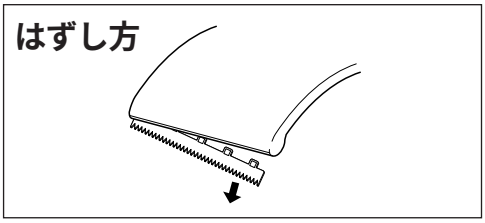
カッター部品品番（別売）：75-1407

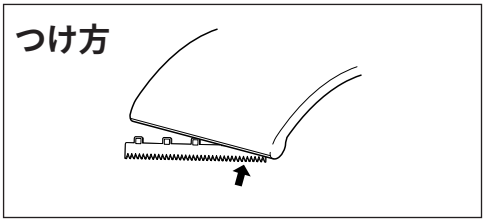
カッター部は手前に引っ張ると外れます。
新しいカッターを装着する場合は、表裏をよくご確認の上、手前から差し込んでください。











※カッターを差し込んだ後、軽く引っ張ってみて容易に取れないことを確認してください。

●別売品

品　　名	品　番	入り数	定　価	材　　質
芯無しペーパー用芯棒	A-4326	1	\300	本体：ポリスチレン樹脂 スプリング：ステンレス
カッター	75-1407	1	\200	オレフィンエラストマー

●ご使用上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

キャビネットを水洗いしないでください。また水をこぼしたりした際は、すぐに乾いた布でふきとってください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※腐食・カビ発生の恐れがあります。

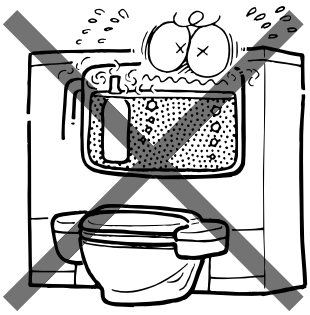
室温と便器の表面温度差や湿度により、便器の表面に水滴が生じることがあります(結露)。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露が生じた場合は乾いた布でふきとってください。
※結露水は、床のしみや破損の原因になります。
※防露タンク、防露便器の場合は、結露しにくい構造になっています。

鉛筆、ボールペン、クシ、歯ブラシなどを誤って便器鉢内、手洗器排水口に落とした場合は、水を流す前に必ず拾い出してください。
※便器、排水管が詰まり汚水があふれる恐れがあります。

本体およびカウンターに堅いものを落としたり、衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

便器には新聞紙、紙おむつ、ティッシュペーパー、生理用品等、詰まりやすいものは流さないでください。
※便器が詰まり、汚水があふれる恐れがあります。
必ずトイレットペーパーをご使用ください。

洗浄タンクに芳香洗浄剤や薬品を使用しないでください。また節水のために洗浄タンクに空ビンやレンガ等の異物を入れないでください。
※故障の恐れがあります。



便器に油などを流さないでください。
※**排水管が腐食し、漏水の恐れがあります。**

扉は静かに開閉してください。
※**商品が破損する恐れがあります。**

キャビネット内部に水をこぼさないでください。
※**床へ漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。**
※**木が水を含み痛む恐れがあります。**

直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※**変色や変形の恐れがあります。**

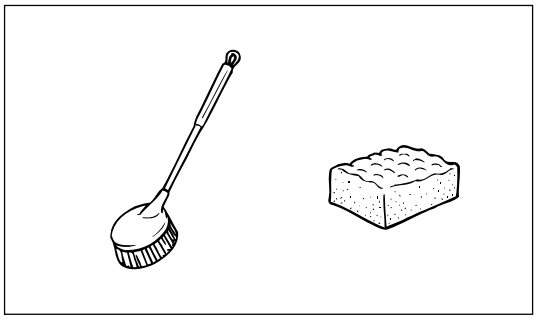
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して、キャビネットやカウンターを拭かないでください。
※**変色や変形の恐れがあります。（溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）**

●お手入れ方法

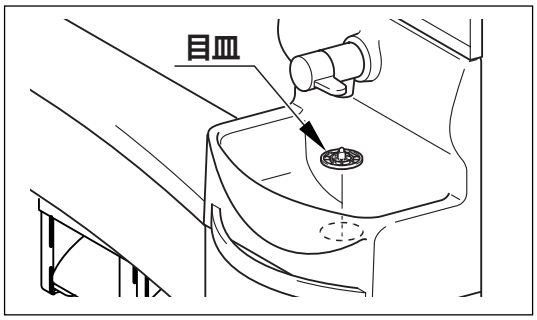
便器,便座やキャビネットは手入れせず放置しておきますと、光沢を失うばかりでなく部品によっては使用に不具合を生じる場合があります。常日頃からこまめにお手入れをしてください。

シャワートイレのお手入れは、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

●便器または手洗器のお手入れは、樹脂製のブラシやスポンジを用いて中性洗剤と水、またはぬるま湯で洗ってください。熱湯を便器または手洗器に注ぎますと割れることがありますのでおやめください。
※詳細については同梱の“ プロガードお手入れ読本 ” をお読みください。

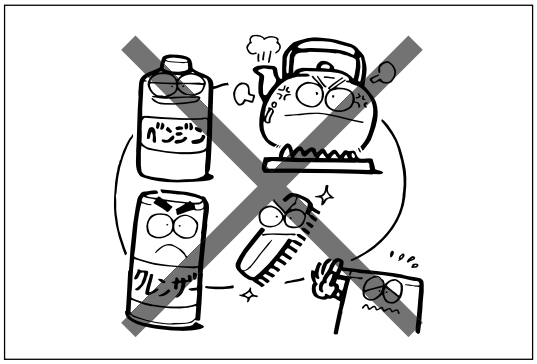


●手洗器の排水口にはゴミキャッチャーとして目皿が入っています。
定期的に取り出し、ブラシなどで掃除をしてください。(L 型の場合)



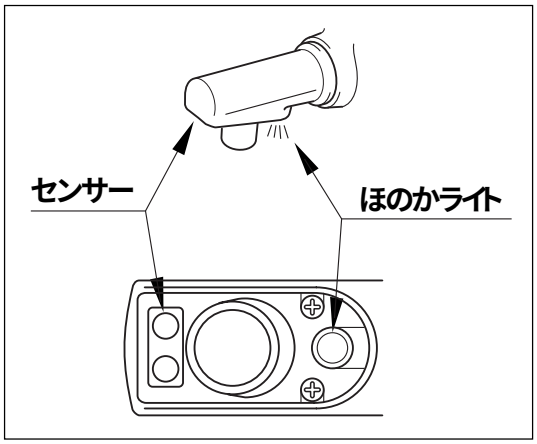
●汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあとすぐ水ぶきをし、乾いた布で水分をふきとってください。

●表面の変色や変質の原因になる以下のものは使用しないでください。
- 中性洗剤以外の洗剤
- 酸、アルカリ
- 熱湯
- クレンザー、磨き粉
- シンナー、ベンジン等の溶剤
- 金属たわし、硬いブラシ、硬い布



●カウンターの上にアルコール系薬品や酸性系洗剤を置かないでください。
※変質の恐れがあります。

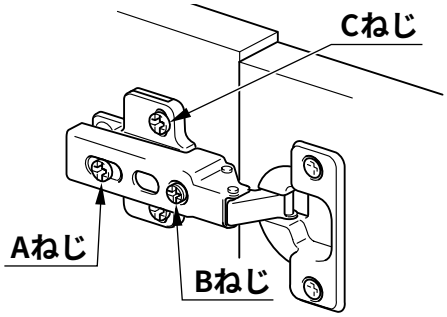
●水栓やセンサー、ほのかライトの表面の汚れは、適当に薄めた中性洗剤をしみ込ませた布でふきとってください。
※水栓やセンサー、ほのかライトの表面についた洗剤はよくふきとってください。



■パネルの調節

スライド蝶番の調節

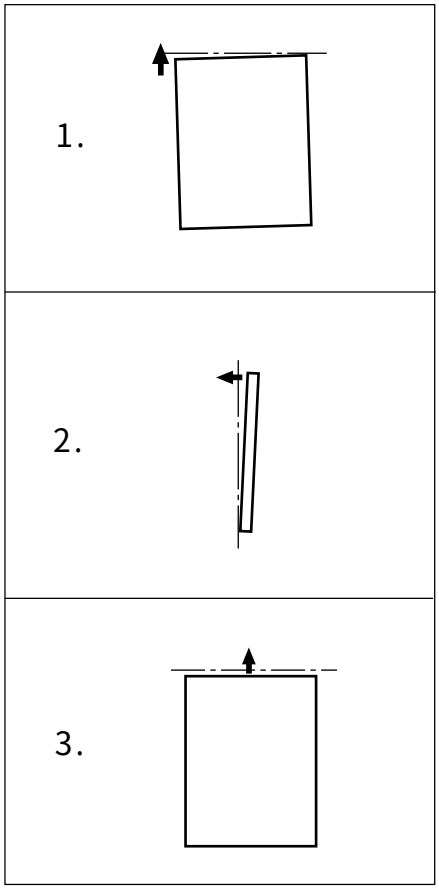
●扉のスライド蝶番（ストッパー付き）を調節する際はＡねじ、Ｂねじ、Ｃねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。
調節後は必ずＡねじ、Ｃねじが固く締め付けてあることを確認してください。



1. 扉の先端を上に上げるとき
 1）扉下方の蝶番のＢねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のＢねじを右へ回して調節します。
 2）扉を閉めて確認します。
 3）正しい位置になるまで 1)、2）をくり返します。

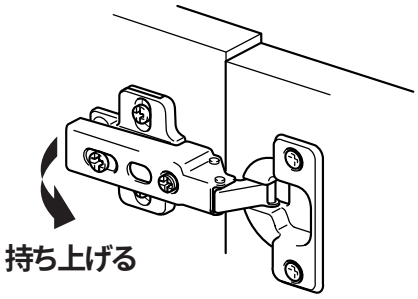
2. 扉と側板のすき間が上下違うとき
 1）扉上方の蝶番のＡねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
 2）正しい位置でＡねじを右へ回して締め付けます。

3. 扉の高さが上下にずれているとき
 1）扉の上下の蝶番のＣねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
 2）正しい位置でＣねじを右へ回して締め付けます。



扉の外し方

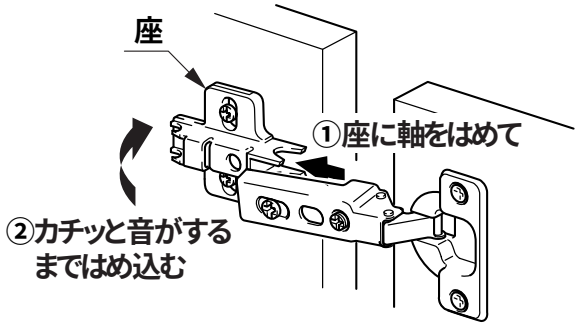
●スライド蝶番の奥を持ち上げるとワンタッチで外せます。



扉の取り付け方

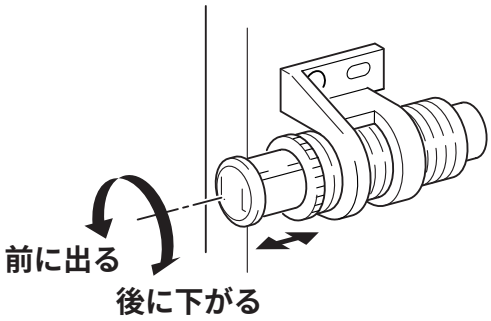
1）扉側蝶番の軸をキャビネット側の座にはめ込みます。
2）蝶番の奥をカチッと音がするまではめ込みます。

確実に取り付けてください。
※扉の落下等でケガをする恐れがあります。



マグネット式プッシュラッチの調節

●扉のマグネット式プッシュラッチを調節するには、プッシュラッチの先端を回して前後させ調節してください。



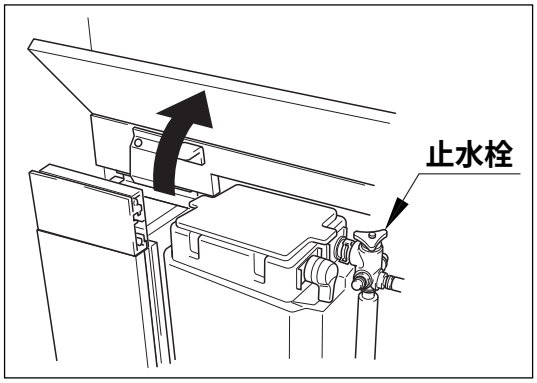
●長期間使用しない場合（本体内の水の汚れや凍結による破損の防止）

シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

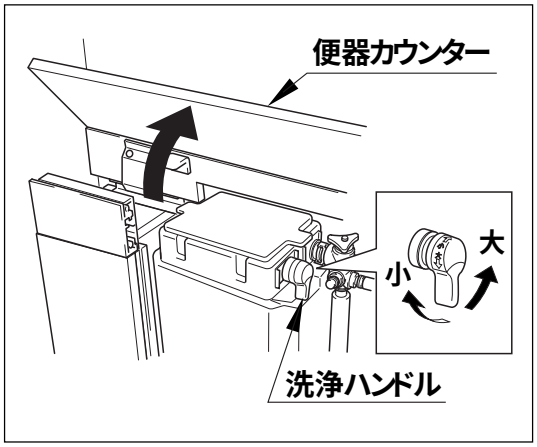
■給水の停止および水抜き

［レバー式水栓の場合］

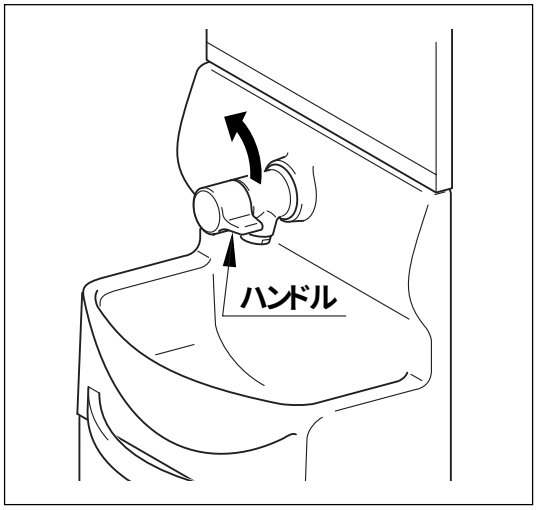
1、止水栓を操作して、洗浄タンクおよび手洗器（L 型の場合）への給水を止めます。
※水抜式便器をお使いの方は水抜栓を操作して洗浄タンクへの給水を止めます。万一の故障にも漏水せず安心です。



2、凍結の恐れがある地域では、凍結破損防止のため洗浄ハンドルおよび水栓ハンドル（L 型の場合）を操作して、洗浄タンク内および水栓金具内の水を抜きます。
※標準式便器、水抜式便器とも洗浄ハンドルをしばらく回したままにして、洗浄タンク内の水を抜いてください。



3、レバーを上げ、水洗金具内の水抜きをします。

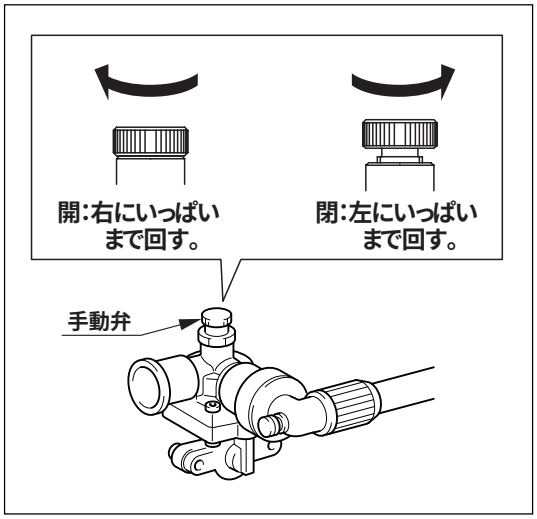


4、凍結が予想される場合は、便器内に溜まっている水に不凍液を入れるなどして、凍結しないようにしてください。

［自動水栓で寒冷地仕様の場合］

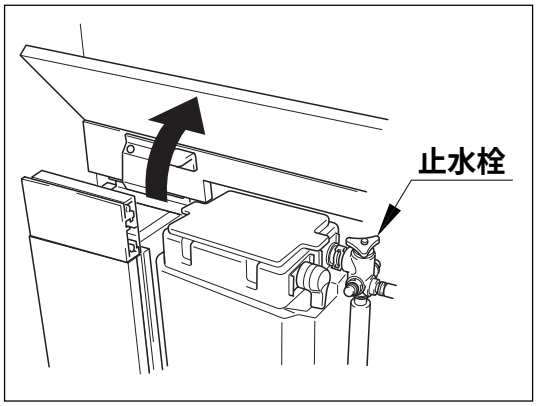
1、配管の水抜栓を操作する。
2、電磁弁に付いている手動弁を開ける。（右にいっぱいまで回す）
3、１０秒程経ってから手動弁を再び閉じる。（左にいっぱいまで回す）

※再通水直後は電磁弁内部の凍結により、自動水栓が作動しない場合があります。



■再び使用する場合（試運転）

●止水栓を操作して洗浄タンクおよび手洗器（L型の場合）への給水を行います。
※水抜式便器の場合、止水栓は全開にしてください。



●冬期凍結の恐れがある場合

冬期凍結の恐れがある場合は、以下の処理を行ってください。
※凍結した場合、洗浄タンクや便器が破損する原因になります。

シャワートイレについては、シャワートイレ取扱説明書をご覧ください。

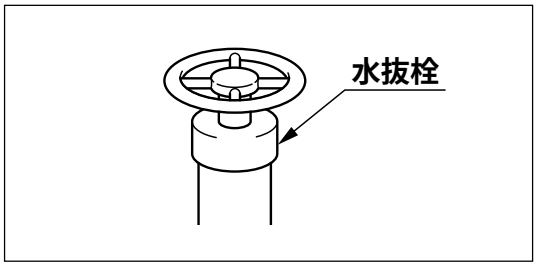
■凍結防止方法

●一般的な凍結防止方法

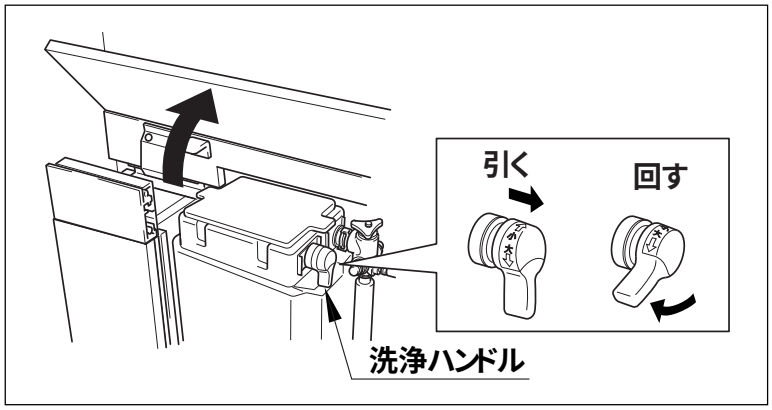
室内を暖房して、洗浄タンク内や便器内の溜水および手洗い給、排水まわり（L 型の場合）を凍結させないようにしてください。

●水抜栓による凍結防止方法

1、室内を暖房し、水抜栓を操作して洗浄タンクへの給水を止めてください。



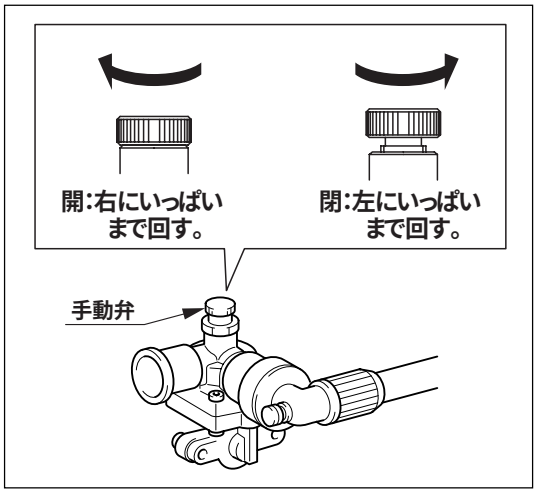
2、便器カウンターをあけ洗浄ハンドルを引いてから手前に回します。
ハンドルが上がったままになり、ロータンク内の水が抜けます。
元に戻すには、再度ハンドルを引いて操作してください。



[自動水栓で寒冷地仕様の場合]

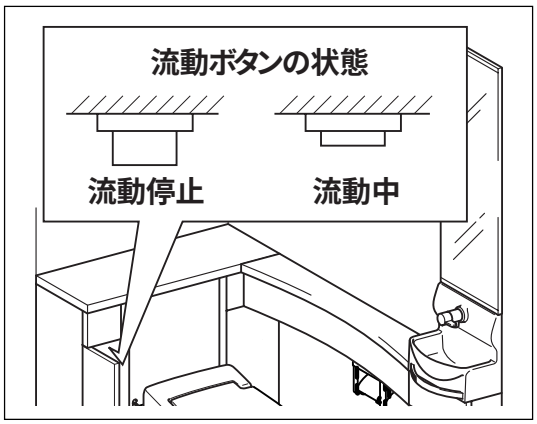
1、配管の水抜栓を操作する。
2、電磁弁に付いている手動弁を開ける。(右にいっぱいまで回す)
3、10秒程経ってから手動弁を再び閉じる。(左にいっぱいまで回す)

※再通水直後は電磁弁内部の凍結により、自動水栓が作動しない場合があります。

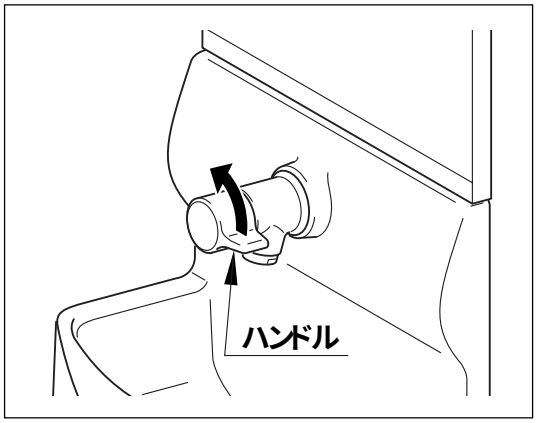


●流動式便器の場合の凍結防止方法

1、便器横のキャビネット天板に流動ボタンがありますので、このボタンを押し込んでください。ロータンクの中の水が放流されます。
再度ボタンを押すと放流は止まります。



2、手洗器水洗ハンドルを操作して、60リットル / 時間 程度の水が流れ続けるようにしてください。（L 型の場合）

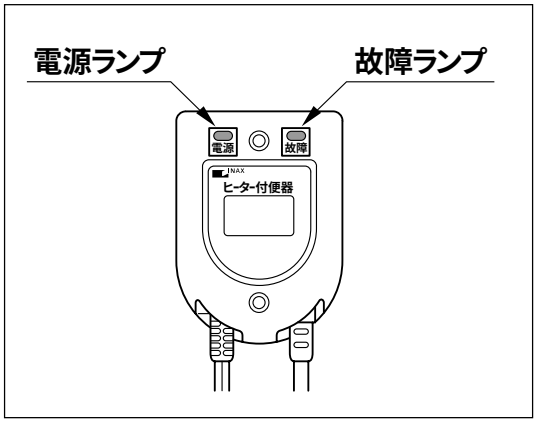


●ヒーター付き便器の凍結防止方法

電源プラグをコンセントに差し込み、電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認してください。

注意

故障ランプが点灯したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。



■トイレ内の使用限界温度について

凍結防止をしていただいても、0℃以下となる場合、凍結する恐れがありますのでご注意ください。

※環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

●アフターサービスについて

■修理依頼・ご相談について

より安全にご使用いただくために、次の場合は必ずお求めの取扱店にご相談ください。

●“ 取扱説明書 ” どおりに使用されても、まだご不明な点があるとき

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガをする恐れがあります。

■定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより 3 年たったもの。

●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの。

■保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付日より 2 ケ年です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

■修理を依頼されるとき

お求めの取扱店または、巻末に記載の（株）INAX メンテナンス（フリーダイヤルをご利用ください）までご相談ください。

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “ 技術料 ” + “ 出張料 ” + “ 部品代 ” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番（商品に表示）
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 訪問ご希望日

■部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 6 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。なお補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービス等についておわかりにならないとき

取扱店またはお客さま相談センター（巻末のフリーダイヤルをご利用ください）へお問い合わせください。

●仕様

■仕様表

	仕様	
型式	L型便器セット ラウンドカウンタータイプ	I型便器セット
便器	陶器製　プロガード仕様　防露仕様　サイホン式便器 BW1、BN8の2色対応	
洗浄タンク	ポリエチレン樹脂製　防露仕様	
手洗器	陶器製　プロガード仕様 BW1、BN8の2色対応	
水栓金具	レバー式水栓または自動水栓	
キャビネット	ポリエステル化粧合板　WA、MMの2色対応	
巾木、幕板	アルミ製	
手洗いカウンター	木製	
便器カウンター	木製	
タオルバー	アルミ製	
ペーパーホルダー	樹脂製　抗菌仕様	

注意：シャワートイレはリラステージiシリーズ専用品となっております。故障の際には便フタ裏の品番をご連絡ください。
買替えの場合には、便器洗浄機能が必要となりますのでINAX「お客さま相談センター」までお問い合わせください。（連絡先は巻末ページに記載してあります）

MEMO

MEMO

MEMO

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番 リラステージiシリーズ　L型便器セットラウンドカウンタータイプ、I型便器セット		
保証期間 取付日より 2 ケ年		
保証書番号		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ	様
	おところ	おでんわ (　　)　ー

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、巻末を参照して、（株）INAX メンテナンス（フリーダイヤルをご利用ください）にご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   （1）使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
   （2）温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障および損傷
   （3）お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
   （4）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
   （5）消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
   （6）本書の提示がない場合
   （7）本書に取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。
従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店またはもよりの当社支社・営業所にお問い合わせください。
修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後 6 ケ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社 INAX
愛知県常滑市鯉江本町　〒 479-8585
TEL：(0569) 35-2700（代表）

株式会社INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」
TEL. 0120-1794-00
FAX. 0120-1794-30

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日　10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAX メンテナンス

365日受付&修理

TEL. 0120-1794-11

受付時間　9:00～22:00

FAX. 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp